

野洲市の近江富士花緑公園で「水源の森 オータムフェスタ」が開催されました!

10月5日(土)に野洲市の滋賀県立近江富士花緑公園で「水源の森 オータムフェスタ」が開催されました。本イベントは、森林がもたらす恵みをPRし、滋賀の森林、琵琶湖の環境を保全する意識を高めること、第72回全国植樹祭開催後の緑化機運のさらなる向上を目的として、10月の「びわ湖水源のもりづくり月間」に合わせて開催されたものです。

会場では、森林・林業・木材利用に関係する団体など19団体がブースを出展し、丸太切りや木工クラフト、こども建前(たてまえ)などの体験活動や、木質ペレット窯で焼いたピザやジビエ料理といったやまの恵みを感じる食品の販売、大学の研究成果や各団体の活動の展示等が行われました。

ステージでは、林業関係団体によるチェーンソーアートや丸太のベンチ作り実演も実施され、多くの方が熟練の林業技術に見入っていました。

当日は天候に恵まれ、親子連れを中心に多くの方が来場され、森林・林業の魅力を感じ、琵琶湖の水源である滋賀の森林の保全について考える貴重な機会となりました。(琵琶湖環境部森林政策課やまの健康推進係)



会場の様子



林業研究グループによる丸太イス作り実演



丸太切り体験



木工クラフト

も

WE LOVE WOOD
滋賀林政トピックス
あのまち、このまち
林業普及だより

く

森林政策課からのお知らせ
インフォメーション

じ

治山・林道の紹介

「水源の森オータムフェスタ」が開催されました!

近畿ブロック林業グループコンクール、林業技術交流学習会

オニグルミの利活用への挑戦(湖北森林整備事務所)

彦根市における森林経営管理制度を活用した森林整備に向けた支援

(中部森林整備事務所)

滋賀県で「森林経営管理リーダー育成研修」が開催されました

東し建設株式会社×滋賀県「建築物木材利用促進協定」の締結

滋賀県林業協会より

甲賀市土山町黒滝地先での床固工の改修について(甲賀森林整備事務所)

素材価格の動向

- ◆1
- ◆2
- ◆3
- ◆4
- ◆5
- ◆6
- ◆6
- ◆7
- ◆7

令和6年度 近畿ブロック林業グループコンクール

8月23日に「令和6年度近畿ブロック林業グループコンクール」が滋賀県庁新館大会議室で開催されました。このコンクールは、林業技術の向上及び林業経営の発展のために、地域の振興・活性化を図っている林業グループの活動や研究などについて、発表・討議することを目的に毎年、開催されています。当日は、近畿府県の林業研究グループや林業関係者の方など約100名の参加がありました。

各府県の代表の6グループから日頃の活動に関する発表があり、滋賀県からは多賀町林業研究グループが「多賀スギ」の苗木生産を目指して」というテーマで、地域由来のスギ苗木を生産し、植栽しようという取り組みの紹介をされました。現在は、採穂用の母樹を育てている段階ということでしたが、この取り組みで培った挿し木の技術を無性生殖について学んでいる中学生へ出前講座として指導もされており、次世代の森林づくりと若い世代への林業の普及活動につながる素晴らしい発表でした。



近畿ブロック林業グループコンクールの様子

(琵琶湖環境部びわ湖材流通推進課普及指導係)

令和6年度 第23回林業技術交流学習会

滋賀県林業研究グループ連絡協議会は10月4日に滋賀県林業普及センターにおいて、第23回林業技術交流学習会を開催しました。

交流学習会の前半は、「森林に関わる人の仲間づくり」をテーマに、県内各支部の会員が3つのグループに分かれてのワークショップを行い、活動の輪を広げるための議論が活発にされました。後半は、県内各支部が、日頃から取り組んでいる活動についての発表を行いました。最優秀賞を受賞した甲賀愛林クラブは、テーマを「やま」を次世代につなぐ活動」と題し、「やま」を次世代につなぐために取り組んでいる下流域の住民との交流を軸とする森林活動などについて発表しました。また、林業活動コンクールと併せて特用林産物等展示会も実施しました。



ワークショップでの議論



林業活動コンクール発表の様子

(滋賀県林業研究グループ連絡協議会)

令和6年度林業技術交流学習会受賞者一覧(敬称略)

部 門	賞 名	受 賞 者			
		支部名	所属グループ	氏 名	
林業活動コンクール	最優秀賞	滋賀県知事賞	甲 賀	甲賀愛林クラブ	中島 教芳
	優秀賞	県森林組合連合会長賞	大津・湖南	大津市林業振興会	玉木 圭介
		県林業協会会長賞	東近江	東近江市永源寺林業研究グループ	井上 慎也
		県林業協会会長賞	湖 東	多賀町林業研究グループ	武廣 直久
		県林研グループ会長賞	高 島	たかしま林業研究会	清原 猛史
特用林産物等展示会	奨励賞 笹井賞	県林研グループ会長賞	湖 北	長浜市伊香林業研究グループ	高橋 市衛
			甲 賀	かふか林業研究会	堀 憲治
			大津・湖南	栗東市林業振興会	田村 耕一



特用林産物等展示会

あのまち、このまち

オニグルミの利活用への挑戦
～一石三鳥の早生樹造林を目指して～

主伐後の再造林樹種として、成長が早く、短伐期での利用が可能な早生樹が注目されています。従来のスギ・ヒノキ主体の林業は、収穫までに長い年月を要し、植栽・育林にコストがかかります。自分の代で投資を回収することが難しく、子孫の世代まで引き継ぐことが前提となるため、そのことが理由で主伐・再造林を躊躇する方が多く、課題の1つとなっています。そこで、これから主伐・再造林を進めていくうえで、10～25年で収穫できる早生樹に期待が寄せられています。長浜市伊香林業研究グループの高橋氏は、「自分で植栽して、自分の代で収穫できる」という点に魅力を感じ、早生樹の育成を始められましたので、その取組を紹介します。



オニグルミの実

早生樹といえば、センダンやコウヨウゼンがよく知られていますが、高橋氏が注目されたのは、沢や川辺に多く自生しているオニグルミです。オニグルミの材は、適度な硬さと重みがあり、材質が良いとされています。また、果実や殻も利用でき、樹液からはシロップを作ることができます。最終目標は、木材としての利用ですが、短期間で木材を収穫できるだけでなく、木材以外にも収益につながる要素があるのがオニグルミの良さの1つです。

高橋氏は、2018年7月に苗木づくりをスタートし、水田跡地や耕作放棄地に植栽されました。苗木の植栽のほか、実の直播きも実施されており、いず



苗木 (2018年7月)

れも発芽率が高く、順調に生育しています。2019年、2020年、2024年には、同じ林業研究グループの会員の方の土地にあるオニグルミの成木から樹液を採取し、シロップづくりに挑戦されました。



苗木 (2024年9月)

まだ、オニグルミの育成方法は確立されていないため、試行錯誤しながら育成されています。苗木づくりでは、低い位置で分枝したり、葉を食害されたりといった課題が生じ、対策を検討しています。シロップづくりでは、最初は採取した樹液が汚れており、廃棄したのもありましたが、工夫を重ねることで少量ですがシロップを得ることに成功されました。

今後もオニグルミ造林を進め、果実の油や染料としての利用や、殻のスタッドレスタイヤでの利用など一石二鳥・三鳥以上を狙っていきたいと話されました。将来的にはホオノキなどの樹種の育成も検討されており、新たな可能性が広がっていきそうです。早生樹造林に取り組む仲間を随時募集されていますので、ご興味のある方は、ぜひ一緒に活動されてみませんか。

(湖北森林整備事務所林業振興係)



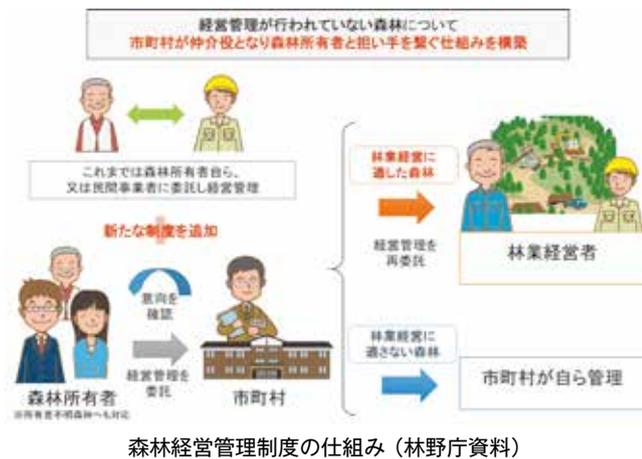
樹液の採取



完成したシロップ

彦根市における森林経営管理制度を活用した森林整備に向けた支援

滋賀県の森林資源が本格的な利用期を迎えるなか、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用が重要となっています。従来は森林所有者自ら、又は森林組合等への委託により森林経営管理を行ってきましたが、平成31年4月に「森林経営管理法」が施行され、従来の方法に加え、市町村が森林所有者の意向を確認し、所有者の委託を受けて経営管理することや、林業経営者に再委託することが可能となりました。



当管内の市町の1つである彦根市の人工林の多くは市北部に位置する鳥居本北部地区に存在しています。これまでは各森林所有者が協力して保育整備を行ってきましたが、所有者の高齢化に伴う管理不足や、所有者の世代交代による地区の転出などにより、森林所有者自身が所在や境界を把握できていない森林が増えてきています。その結果、木材資源としての利用が可能となった森林において、搬出間伐等の整備が進んでいない状況です。そこで、彦根市は森林経営管理制度を活用し森林整備を進めていくこととし、林業普及指導員はその支援を行って来ました。

まずは令和元年度より大規模所有者である財産区などの団体に対して、従来どおりの方法である森林組合による森林経営計画に基づいた搬出間伐を進めていきました。彦根市に団体所有者と森林組合のつなぎ役になって頂いた結果、令和4年度から財産区エリ

アにて搬出間伐が実施されることとなりました。

また、令和3年度より、周囲の個人所有林の整備も進めていくために、「鳥居本北部地区の森林はどんな状況か?」「鳥居本北部地区の森林をどうしていくか。」を整理するために、彦根市とともに鳥居本北部地区に特化した森林経営管理制度に関する森林整備方針の作成に着手しました。

森林整備方針が固まってきた令和5年度には意向調査を1地区実施することができました。今後も順次意向調査を行っていく予定です。



財産区等への搬出間伐の推進

彦根市は、搬出間伐を実施した財産区エリアをモデル地区とし、森林経営管理制度を活用して、個人所有林の森林整備を広げていくという意欲的な思いを持ちながら今年度も取り組んでおられます。



搬出間伐を実施した財産区エリア

森林経営管理制度は長期的な取組です。各市町の今の取組が先に繋がるよう、これからも林業普及指導員は長期的な視野に立って伴走支援を行っていきます。
(中部森林整備事務所林業振興係)

滋賀県で「森林経営管理リーダー育成研修」が開催されました

平成31年4月に「森林経営管理法」が施行され、森林所有者による経営管理が行われていない森林について、市町村が意向調査を行い、経営管理を委託したいとの意向が示された森林について、市町村が林業事業体に再委託したり、市町村自ら経営管理権集積計画を作成した上で森林整備を行ったりすることが可能になりました。

この制度の推進のため、林野庁では毎年「森林経営管理リーダー育成研修」を各地で開催し、市町村職員やそれを支援する都道府県職員等のスキルアップを図っており、今年度は、10月に大津市で研修が開催されました。

研修では、まず林野庁から、制度の進捗状況や各地域の事例について講義いただきました。印象的だったのは、「森林経営管理制度はあくまで政策の手段の一つ」ということ。地域で未整備森林を解消していくことが最終目標で、それを進めるため、まずはビジョンを明確にして、あらゆる方策を組み合わせながら、パーツの一つとしてこの制度を利用してほしい、ということでした。

また、森林総合研究所からは、市町村の森林・林業行政について、近年権限が増大している割に、職員数がさほど増えていない、などデータを用いて講義いただきました。また、ドイツのフォレスター制度と比較しながら、日本行政の強みとして、チームで補い合える点などを活かしていくべきとの言葉が印象的でした。

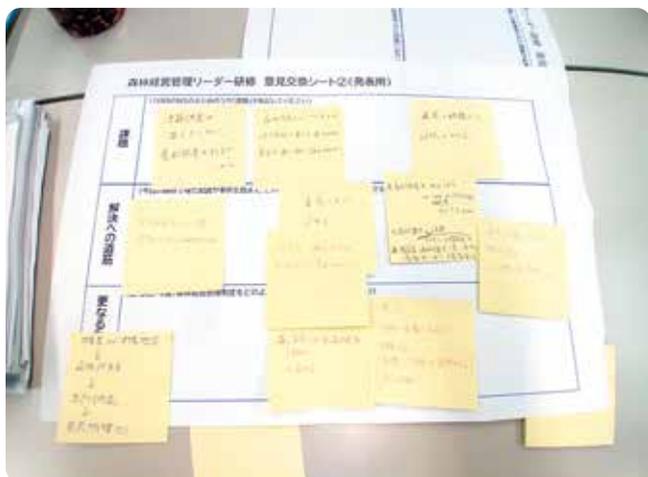
次に、先進市町の取組事例として、東近江市の取組と、三重県津市の取組について、担当課より講義いただきました。東近江市の取組は、集落ごとにビジョンを立てるところや、机上で境界明確化を進めているところが先駆的でした。三重県津市の取組は、市内全民有林3万8千haと規模が大きい中、5年間で意向調査をまずは完了したということが先駆的でした。

受講生同士のグループワークでは、4～5人のグループに分かれて、課題抽出と対応策の検討を行いました。課題抽出の段階では、境界明確化が進んでおらず取組が進まない、人手不足等の課題が挙がりましたが、対応策の検討では、森林整備ができそうなところから進める、経験者を雇用する、制度に囚われず地域の実情に合った森林整備を進める、といった意見が挙げられました。

研修受講後、受講生からは、「悩んでいたことについて、進めるヒントが得られた」「課題はあるができるところから進めていきたい」などの感想が聞かれました。

今回の研修を機に、今後県内市町において森林経営管理制度が一層進むことが期待されます。

(琵琶湖環境部森林政策課林政企画係)



グループワーク アイデア出し



グループワーク 班ごとに発表

INFORMATION インフォメーション

お知らせ

東レ建設株式会社×滋賀県 「建築物木材利用促進協定」の締結

滋賀県は、令和6年（2024年）9月3日に、東レ建設株式会社と「建築物木材利用促進協定」を締結しました。これは、令和3年10月1日に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年法律第36号）（通称：都市の木造化推進法）」において、建築物における木材利用を促進するために創設された制度に基づくものです。県内での締結は2例目となります。

協定（構想）の目的・内容

東レ建設株式会社が掲げる「建築物木材利用促進構想」について、同社と滋賀県が連携・協力することにより、同社による取組を促進し、構想の達成に寄与することです。

（1）構想の内容

東レ建設株式会社は、設計施工に携わる建築物において、びわ湖材をはじめとする国産木材を積極的に活用することにより、木材の良さを広くPRするとともに、2050年カーボンニュートラルの実現およびSDGs、生物多様性の保全やマザーレイクゴールズ（MLGs）の達成に貢献していく。

（2）構想の達成に向けた東レ建設の取組

- 炭素貯蔵量が多く、二酸化炭素排出量削減にも寄与する中高層木造建築構法【P&UA 構法】を用いた建築物の実現
- 設計施工に携わる建築物の構造や内外装に、びわ湖材等を積極的に活用
- 建築事業主に対する木造木質化に関する情報提供および木の持つ炭素貯蔵などの環境効果に関する啓発
- 木材利用の意義やメリットについての情報発信や、地域の林業・製材関係者、木造建築に取り組む建築士等と連携した木造建築の促進

（3）構想を達成するための滋賀県による支援

滋賀県は、東レ建設株式会社の構想の達成に向けて、技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供を行うとともに、定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介などを行う。また、本協定に基づく取組を優良事例として積極的に広報する。

（4）対象区域：滋賀県内

（5）有効期限：令和6年9月3日から令和11年3月31日まで

協定制度について

建築主たる事業者等が、建築物木材利用促進構想の実現のため、国や地方公共団体と連携して木材の利用に取り組むことで、民間建築物における木材の利用を促進し、脱炭素社会の実現や持続可能な社会の実現を目指すものです。
(琵琶湖環境部びわ湖材流通推進課びわ湖材利用係)



滋賀県林業協会からのお知らせ

8月8日に草津市で開催された令和6年度第60回滋賀県林業協会通常総会において、林業功績者5名、治山工事コンクール5社が表彰されました。

林業功績者 三浦 信夫様（栗東市）
杉本 芳久様（甲賀市）
山田喜久男様（甲賀市）
西村 聡様（日野町）
谷口 宗仁様（長浜市）

工事コンクール 雄松建設株式会社様
有限会社小西造園様
株式会社アース様
株式会社タイセイ様
株式会社友輝建設様



甲賀市土山町黒滝地先での床固工の改修について

甲賀市土山町黒滝を源流とする田村川では上流域では崩壊地形が見られ、砂礫の流送も多いことから、昭和初期以降から河床を安定させるため床固工を多数設置してきました。

その中で、昭和53年度に施工された床固工について、堤体全体にひび割れおよび天端部の欠損が見られたことから、令和4年度から令和5年度にかけて機能強化・老朽化対策工事により改修を行いました。

この床固工は、特に右岸側にアルカリ骨材反応特有の網目状のひび割れが発生しており、反応物と思われる白色の析出物も見られ、また、中央部には2cmのひび割れが水平に生じ、放水路の中ほどが大きく欠損しており、基礎部の洗掘もみられました。

○補修工事の概要

- ・ 下流側へ1.5mの増厚
- ・ 欠損していた水通し部の補修
- ・ 水通し幅の拡張 (21m→26mによる計画高水深の低減)
- ・ 放水路の摩耗を防止するため水通し天端には練石張工
- ・ 堤体上流側のひび割れ補修工 (Vカット+充てん工法)
- ・ 根継工 (1.3m) および根固め工 (根固めブロック) 計画

設計段階においては、補修方法に関する文献、施工事例も少なく工法の検討に苦慮しました。

施工についても集水面積が589haあることもあり、廻排水や湧水への対応が非常に困難であり、新設と改修では思わぬところで勝手が違う場面に多々遭遇し施工業者と共に苦労しました。

甲賀森林整備事務所管内でも、老朽化等により改修、補修を必要とする治山施設が多数みられます。補修事例が少なく、技術基準等が未整備であることが課題ですが、優先順位をつけて順次補修を行っていきます。

(甲賀森林整備事務所治山林道係)

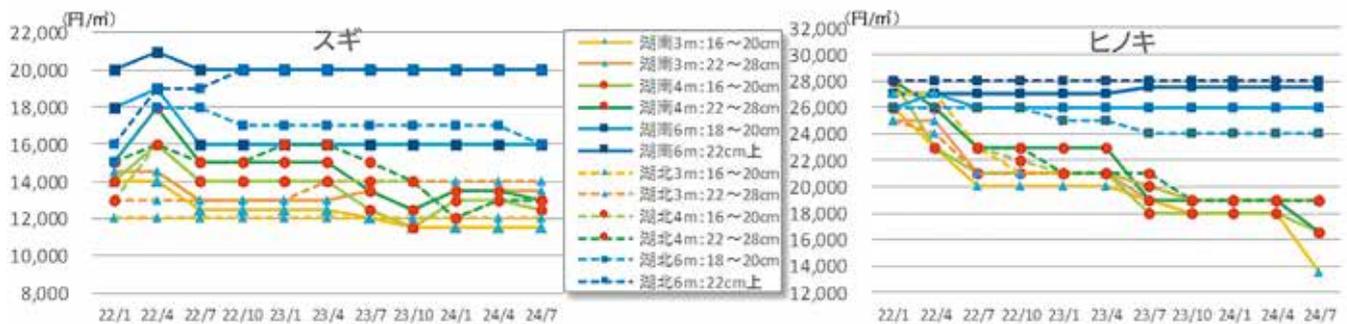


施工前



施工後

素材価格 (県産材) の動向 (滋賀県木材協会「滋賀県木材市況流通調査」)



入って安心 森林保険



あなたの山を総合的に保障します。

お申し込みは
森林組合・県森連へ



滋賀県森林組合連合会

大津市大萱四丁目17番30号

TEL.077 (572) 6798

組合の力で安心と活力ある健全な「滋賀の森林づくり」をすすめています。

森林整備・緑地管理・支障木伐採・建築、建設木材料・木製品販売、木工事施工・林業機械器具販売



滋賀県森林組合(本所)



南部事業所



中央事業所

滋賀の森を育て、木を活かす。



伊香事業所



北部事業所



東部事業所



東近江事業所

Forest 滋賀県森林組合

URL: <http://shiga-forest.jp/>



本所(林業会館内)	大津市大萱四丁目17番30号	TEL:077-547-1180	mail:shiga-shin@shiga-forest.jp
南部事業所	大津市瀬田神領町番戸谷40-1	TEL:077-543-8806	mail:south-office@shiga-forest.jp
中央事業所	甲賀市水口町鹿深3-39	TEL:0748-65-4180	mail:center-office@shiga-forest.jp
東近江事業所	東近江市山上町3544	TEL:0748-27-0034	mail:higashiohmi-office@shiga-forest.jp
東部事業所	犬上郡多賀町多賀246	TEL:0749-48-0530	mail:east-office@shiga-forest.jp
北部事業所	米原市市場438	TEL:0749-55-8008	mail:north-office@shiga-forest.jp
伊香事業所	長浜市木之本町黒田1015	TEL:0749-82-5505	mail:ika-office@shiga-forest.jp

お住まいには
びわ湖材を

住んでよし心ゆたかな木の住まい

原木市売、製品、建材、住器総合卸



甲賀林材株式会社

本社 〒528-0043 甲賀市水口町杣中160 TEL 0748(62)1191 FAX 0748(62)3457
<https://www.ac-koka.jp/kourin/>

土木・建築の鉄鋼資材のご用命は!



営業種目

- ◎ 土木・建築資材販売
鋼製橋梁・堰堤・自在杵・鋼管・その他各種鋼製加工製品
- ◎ 鉄骨建築工事施工及び各種機械器具設置工事施工
- ◎ 各種計量器設計製造販売

近江度量衡株式会社

本社/草津市東矢倉三丁目11-70 TEL (077)562-7111(代)
資料館/大津市中央三丁目1-33 TEL (077)522-5577(代)